

口蹄疫の大規模発生に備えた机上防疫演習の結果について

1. 演習の概要

韓国において口蹄疫のワクチン接種が実施されるなど、発生が継続していること等を踏まえ、口蹄疫の発生に備えた体制整備に万全を期す必要があることから、本年2月以降、各都道府県において机上防疫演習を実施した。

本演習においては、口蹄疫が発生後、国内で感染が拡大した事態を想定し、複数農場で感染が確認された後、移動制限区域内の全ての農場のワクチン接種を実施し、さらにワクチン接種家畜を対象に予防的殺処分を実施する場合を想定して、これらの防疫措置に必要な人員の人数、作業に要する日数や埋却地の確保状況等を検証した。

2. 実施状況

46都道府県で実施。1県（福島県）は東日本大震災の発生に伴い未実施。

3. 結果の概要

（1）ワクチン接種及び予防的殺処分の対象となる戸数及び頭数

各都道府県内で最も飼養密度が高い地域を発生地域に選定し、移動制限区域内（半径10km以内）で3戸の発生が確認されたと設定した。さらに感染が拡大した場合を想定し、この移動制限区域内のすべての農場を対象に、ワクチン接種及び予防的殺処分を行うこととした。

対象となる農場の戸数は、最も多い宮崎県で合計2,298戸（牛飼養農場2,163戸、62,775頭、豚飼養農場135戸、325,484頭）であり、牛及び豚の合計農場数が1,000戸以上の県は3県（宮崎県、鹿児島県、沖縄県）で、平均の農場数は341戸であった。

（2）ワクチン接種及び予防的殺処分に必要な人数及び所要日数

① 目標となる日数（ワクチン接種3日間、予防的殺処分7日間）で作業を終了するために必要な人数

ワクチン接種は3日間で予防的殺処分は7日間で作業を完了することとした場合に、必要となる人数を算出した。

② 確保が可能な人員で作業を行った場合に必要な日数

各県毎に実際に確保できる人数で作業を完了するために要する日数を求めた。

	目標日数で作業完了できる県	目標日数で作業完了不可能な県	備 考
ワクチン接種 (目標日数 : 3日間)	36県	10県 (22%) 最大7日間必要 (岩手県、熊本県、大分県、鹿児島県)	必要な人数が、実際に確保可能な人数との差 100人未満 : 5県、100人～200人 : 2県 200人～300人 : 2県、400人～500人 : 1県
予防的殺処分 (目標日数 : 7日間)	23県	23県 (50%) 最大45日間必要 (栃木県)	必要な人数が、実際に確保可能な人数との差 100人未満 : 7県、100人～500人 : 10県 500人～1000人 : 1県、1000人～3000人 : 4県 3000人以上 : 1県

・ 考察

- ① 今回の演習においては、作業者の1日あたりの処理頭数を各県が独自に設定したため、それが現実的なものかよく検証することが必要。
- ② 防疫作業に必要な人員の確保が困難で、目標日数内に作業を完了できない都道府県においては、民間獣医師等の協力を得られる体制づくりを行うとともに、より迅速で効率的な防疫措置を行うためには何が必要か、国と県で引き続き分析を進める必要がある。

(4) 予防的殺処分を行った家畜の死体の埋却に必要な埋却地の面積

埋却地	面 積(m^2)	備 考
最大	655, 581	群馬県 ・殺処分頭数 牛 : 38, 981頭、豚 : 326, 614頭
最小	1, 000	和歌山県 ・殺処分頭数 牛 : 288頭、豚 : 293頭
平均	91, 623	

最大限必要となる埋却地の面積を想定するため、予防的殺処分を行った家畜の埋却に必要な埋却地の面積を求めた。

・ 考察

埋却には膨大な面積が必要となることから、引き続き必要な埋却地を確保するために市町村、生産者と調整を行う必要がある。